



No. 10-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成23年度第4回

一般国道175号

にしわききた  
西脇北バイパス

【再評価】

平成23年11月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
3. 事業進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

# 1. 事業の概要

## 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 地域のアクセス改善
- 幹線道路信頼性の向上

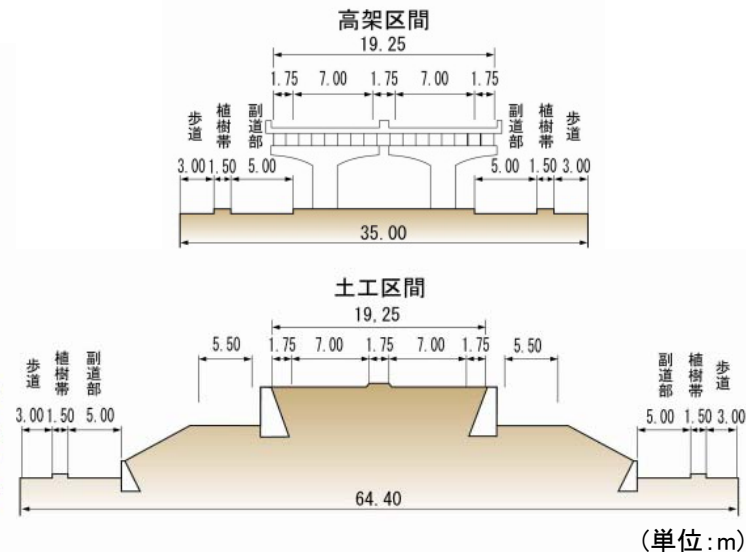
## 計画の概要・進捗状況

区 間	にしわき しもとだ (起)兵庫県西脇市下戸田 にしわき くらだしょうちようおおふし (終)兵庫県西脇市黒田庄町大伏
道路延長	L=5.2km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車 線 数	4車線
標準幅員	W=19.25m
計画交通量	20,200台/日
全体事業費	400億円
事業化	平成9年度
都市計画決定	平成10年7月
用地着手	平成12年度
事業進捗率	約37% (平成23年3月末現在)
用地取得率	約91%(面積ベース、同上)

位置図



標準断面図



## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

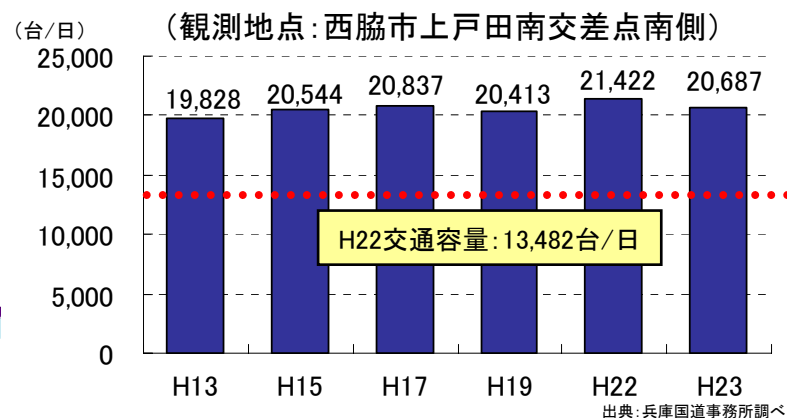
■ 西脇北バイパスに並行する一般国道175号(以下、現道)の交通量は横ばい傾向であるものの、依然として交通容量を超過。

■ 北播磨地域は世帯当たりの自動車保有台数が多く、移動交通手段は自動車に依存。

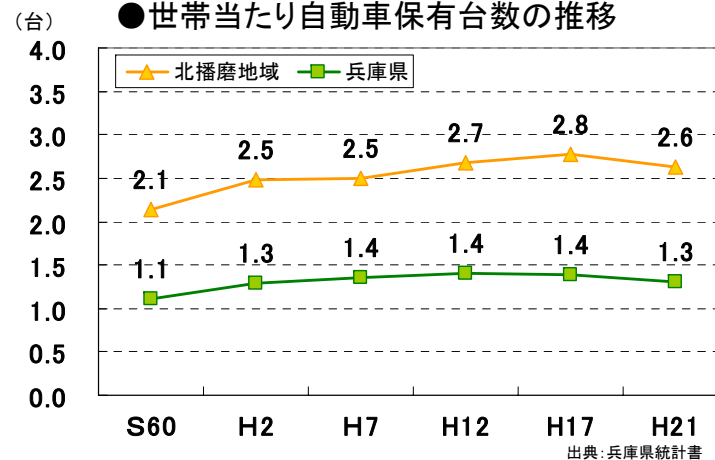


写真①: 観測地点周辺の交通状況  
(平成23年9月30日撮影)

#### ● 日交通量の推移



#### ● 世帯当たり自動車保有台数の推移



## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 2) 事業の整備効果：(交通混雑の緩和)

- 特に交通量の多い上戸田南交差点では、720m(下り)の渋滞が発生。
- バイパス整備により、交通混雑の緩和が期待される。

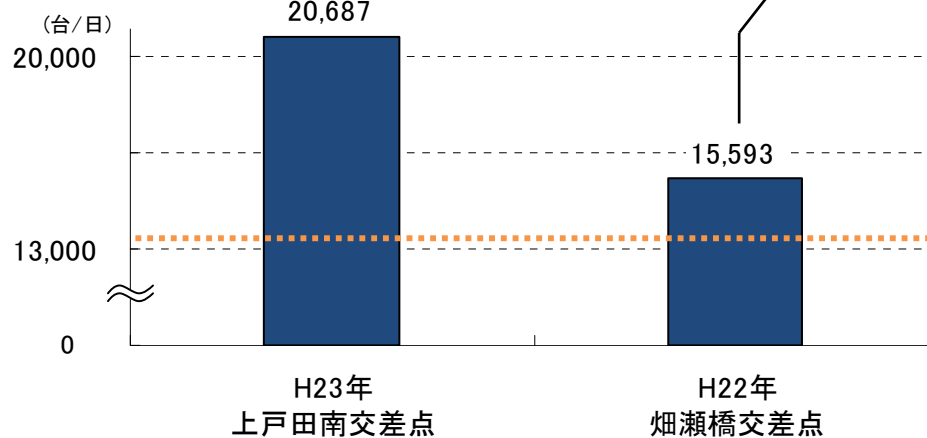
#### ●交差点交通量及び渋滞状況



写真①: 上戸田南交差点付近の渋滞  
(平成23年7月27日撮影)



写真②: 上戸田南交差点付近の渋滞  
(平成23年9月30日撮影)



H22交通容量: 13,482台/日

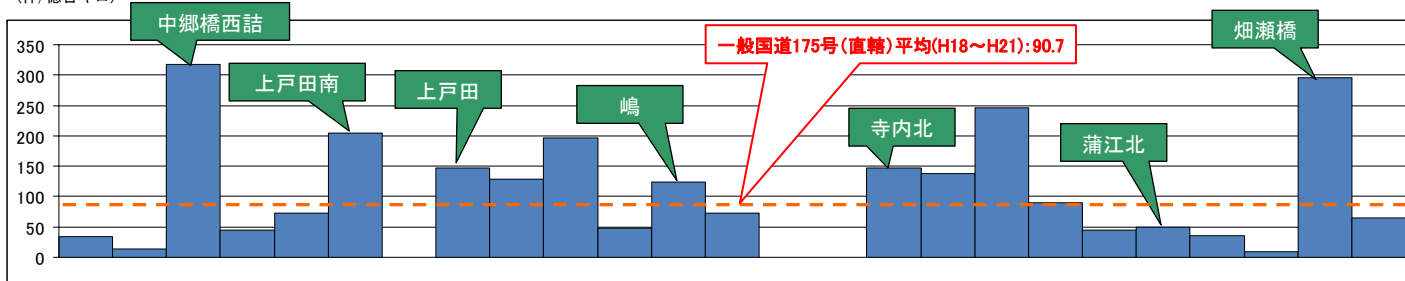
## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 2) 事業の整備効果：(交通安全の確保)

- 現道の死傷事故率(H18~21平均)は、大半の交差点で一般国道175号(直轄)平均を超過。事故の6割は停止車両への追突事故。
- 現道は、歩道未設置区間が7割を占め、狭小な路肩を自転車・歩行者が利用している状況。
- バイパス整備により、通過交通の転換による安全性の向上が期待される。

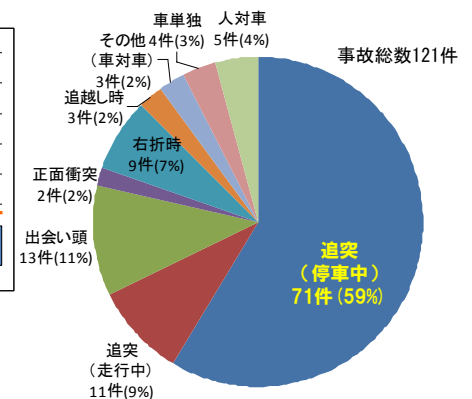
#### ● 現道の死傷事故率(H18~21平均)及び歩道設置状況

(件/億台キロ)

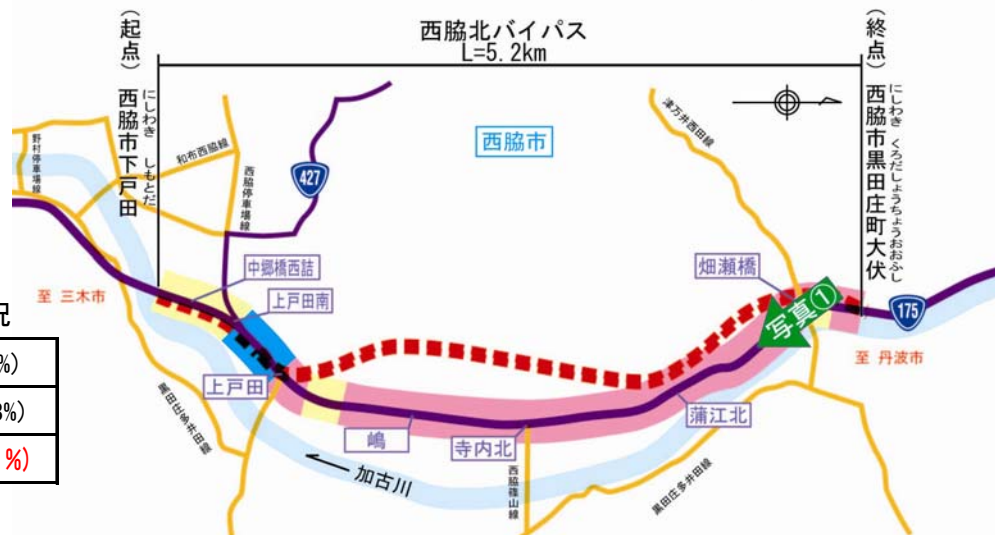


出典：交通事故総合データ(H18~H21)

#### 現道の事故内訳(H18~21)



出典：交通事故総合データ(H18~H21)



#### 現道の歩道設置状況

両側	0.3km	(6%)
片側	1.2km	(23%)
未設置	3.7km	(71%)

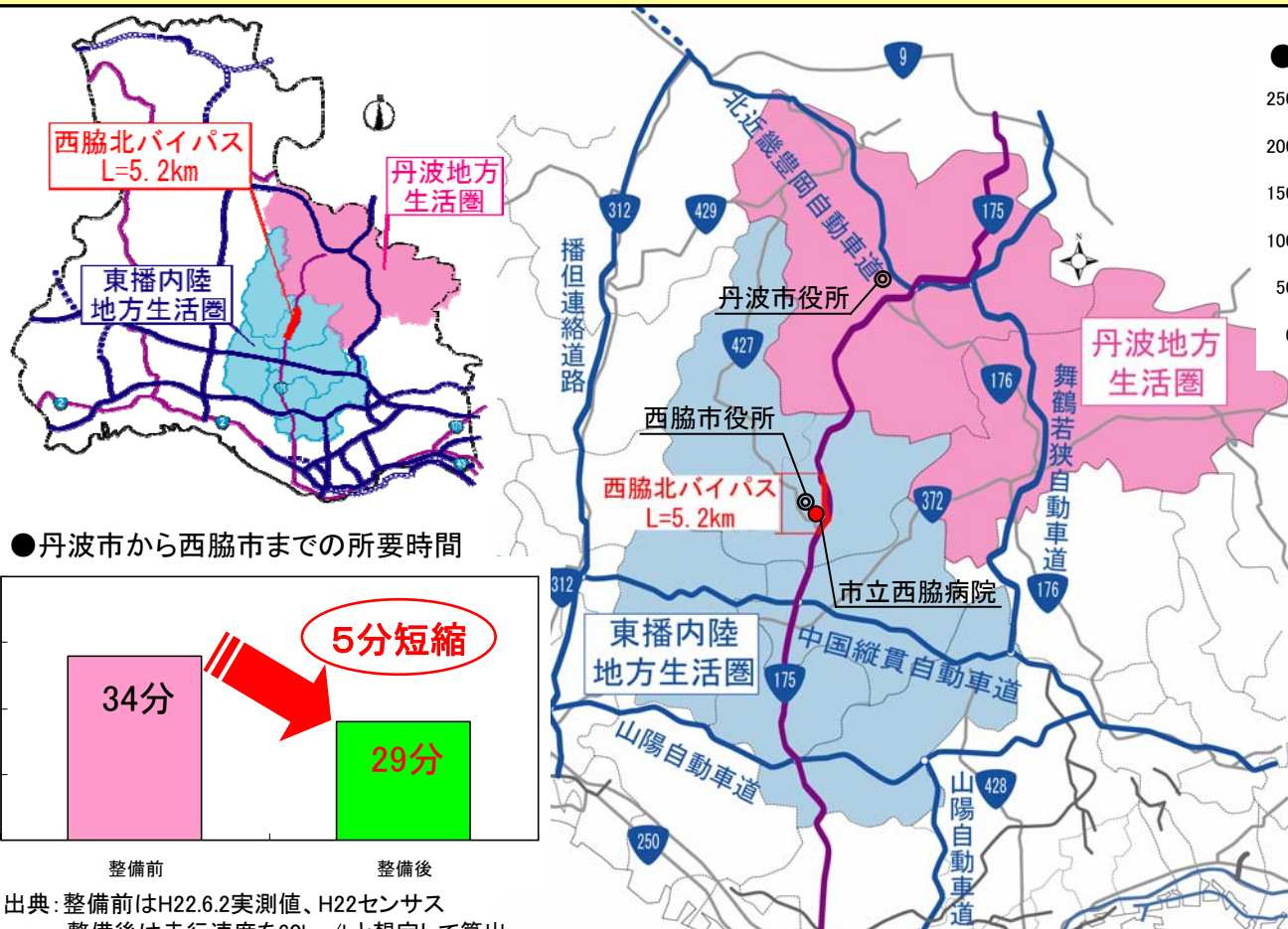


写真①：歩道未設置区間の状況  
(平成23年10月27日撮影)

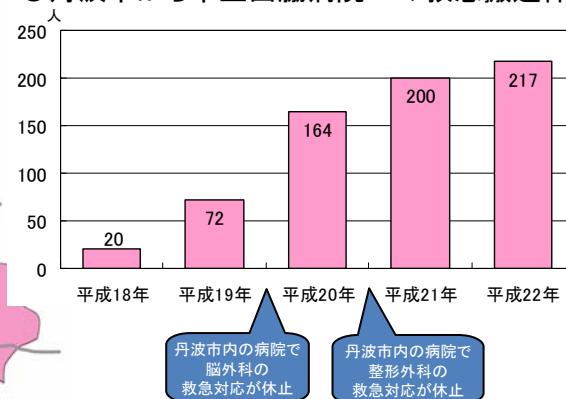
## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 2) 事業の整備効果：(地域のアクセス改善)

- 西脇北バイパスの整備によって、丹波市～西脇市までの所要時間が短縮され、丹波地域と東播内陸地域のアクセスが向上する。
- 市立西脇病院は丹波市から脳外科、整形外科などの救急患者を受け入れており、整備によって所要時間の短縮や走行性の向上による、救急医療への支援が期待される。



● 丹波市から市立西脇病院への救急搬送件数



出典：丹波市消防本部



● 2次救急医療機関 市立西脇病院

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 2) 事業の整備効果：(幹線道路信頼性の向上)

- 現道は、加古川の洪水時(概ね100年に1回程度起こる大雨)に、最大2mの浸水が予測される区域を通過する。
- 現道の終点部には、土砂災害危険箇所が存在する。
- バイパス整備により、これらの区域が回避され、道路ネットワークの強化が実現。

#### ● 洪水時の浸水想定区域・浮石の監視箇所の設定状況





## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 3) 事業の投資効果(西脇北バイパス)

#### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

#### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

#### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	339億円	31億円	0.55億円	371億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	345億円		27億円	371億円	

#### ■ 算出条件等

基準年 : 平成23年度  
 検討期間 : 50年間  
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%  
 交通量の推計時点 : 平成42年度  
 推計に用いた資料 : 平成17年度 道路交通センサス

#### 適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版  
 事業費 : 400億円  
 維持管理費 : 37百万円/km  
 作成主体 : 近畿地方整備局

#### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	339億円	31億円	0.55億円	371億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	181億円		27億円	208億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

## 2. 事業の必要性等に関する視点

### 4) 地域における計画等

#### ■地域における計画

西脇北バイパスは、下記の計画に位置付けられています。

- 広域都市計画基本方針(兵庫県:平成20年5月)
- 兵庫県都市計画区域マスタープラン「東播都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(兵庫県:平成22年4月)
- 西脇市総合計画(西脇市:平成19年10月)

#### ■これまでの経緯

- ◆昭和41年10月 一般国道175号整備促進期成同盟会 設立
  - ・構成メンバー 西脇市長、神戸市長、三木市長、小野市長、丹波市長、加東市長、西脇市議会議長、神戸市議会議長、三木市議会議長、小野市議会議長、丹波市議会議長、加東市議会議長
- (最近の動向)
  - ・平成23年8月に関係機関に対し、一般国道175号の早期整備を要望
- ◆平成6年8月 西脇バイパス整備促進協議会 設立
  - ・構成メンバー 西脇市津万地区各町において選出された者
- (最近の動向)
  - ・平成23年3月に兵庫国道事務所長に対し、西脇北バイパスの早期整備を要望

### 3. 事業進捗の見込みの視点

■西脇北バイパスは、91%の用地を取得済。残る用地取得について推進するとともに、引き続き工事を進めることで、早期の供用を目指します。



区間	西脇北バイパス(5.2km)	計
用地	用地取得 H12~	91%
工事	工事推進中	37%

※用地進捗率は、H23年3月末の面積ベース

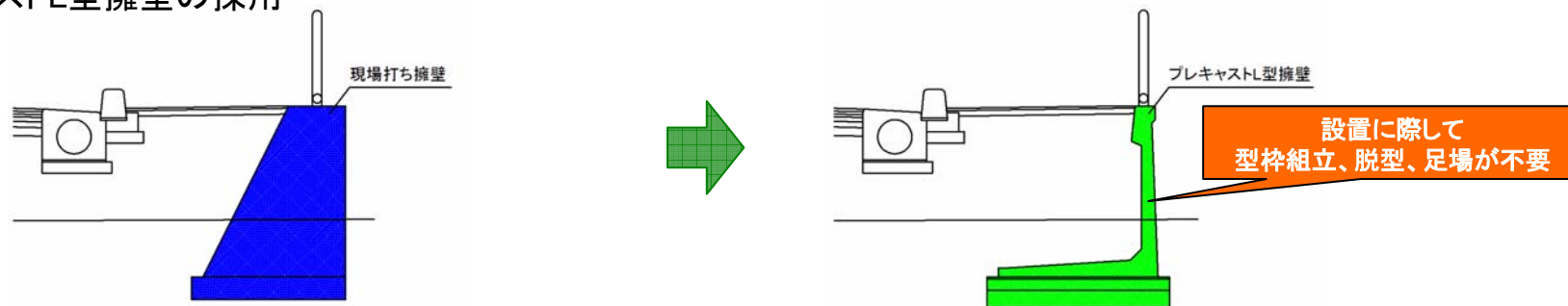
## 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

西脇北バイパスは、国道175号の交通円滑化、周辺の土地利用状況等を勘案して選定された合理的な計画であり、引き続き事業を推進していきます。

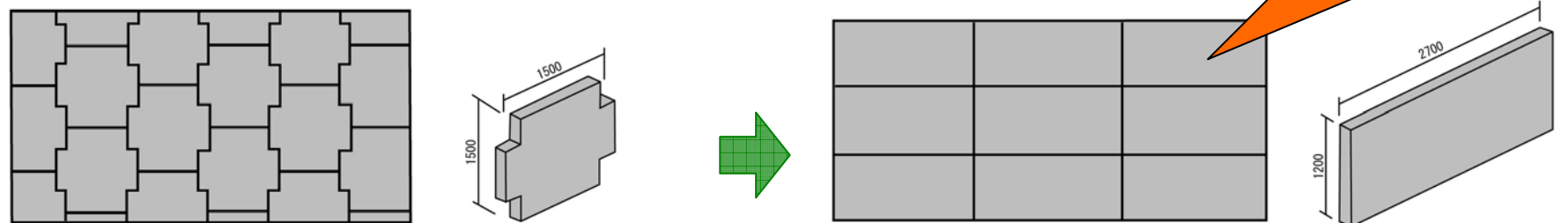


これまでに、建設発生土の有効活用などによるコスト縮減を検討・実施してきました。今後、プレキャストL型擁壁の積極的な採用、新技術のスーパーテールアルメ工法の採用を検討する等、更なるコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

### ●プレキャストL型擁壁の採用



### ●スーパーテールアルメ工法の採用



## 5. 関係自治体の意見

### ○兵庫県知事

平成23年11月4日 土第1398号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道175号西脇北バイパスは、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICを連絡する地域高規格道路「東播丹波連絡道路」の一部を形成し、今年度供用予定の西脇バイパスにつながる重要な道路である。

当該区間の国道175号現道は、2車線で、交通容量(約13,000台/日)を大幅に上回る約20,000台/日の交通量があり、西脇市上戸田南交差点では、夕方の通勤時間帯に最大約700mの渋滞が発生していること、7割の区間において歩道が未整備であり歩行者や自転車が危険な状況にあること等から、交通混雑の緩和、安全性の向上を図る西脇北バイパス(4車線)の早期整備が喫緊の課題となっている。

また、沿線には、地域の豊かな自然や歴史文化、さらには伝統産業など、有形・無形の地域資源を博物館のサテライトとして展示する「北はりま田園空間博物館」の総合案内所があり、観光振興・地域振興の観点からも不可欠な道路であるため、沿線市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、安全で円滑な交通確保と地域の活性化に資する本バイパスの事業推進に、引き続き取り組んでいただきたい。

## 6. 対応方針(原案)

一般国道175号 西脇北バイパス

### 1. 事業の必要性等に関する視点

- 上戸田南交差点では、著しい渋滞が発生(渋滞長720m)。バイパス整備により、渋滞解消による交通の円滑化が期待される。
- 事故の6割は停車車両への追突事故となっている他、歩道未設置区間が全体の7割を占めている。バイパス整備により、通過交通の転換による安全性の向上が期待される。
- 西脇北バイパスの整備によって、丹波市～西脇市までの所要時間が5分短縮され、丹波地域と東播内陸地域のアクセスが向上。市立西脇病院は丹波市から脳外科、整形外科などの救急患者を受け入れており、整備によって所要時間の短縮や走行性の向上による救急医療の支援が期待される。
- 現道は、大雨による加古川の洪水時に最大2mの浸水が予測される区域を通過する。また、防災点検で確認されている不安定な浮石の監視箇所が存在する。バイパスの整備により、これらの区域が回避され、道路ネットワークの強化が実現。
- 費用便益比(B/C)は、西脇北バイパス区間の事業全体で1.0。残事業で1.8。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- 西脇北バイパスは、これまでに91%の用地を取得済。残る用地取得について推進するとともに、引き続き工事を進めることで、早期の供用を目指す。

西脇北バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。  
引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 10-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成23年度第4回

一般国道175号  
にしわききた  
西脇北バイパス  
【再評価】

平成23年11月  
近畿地方整備局

【前回評価時との比較表】

【参考資料】

事業名：一般国道175号 西脇北バイパス（道路種別：一般国道）

平成23年度 第4回事業評価監視委員会

事業化年度：平成9年度

	前回評価時	今回評価	(主な変更点)
	平成19年11月	平成23年11月	
再評価理由	事業採択後10年が経過した時点で継続中	新規採択から3年間が経過	
事業諸元	延長:5.2km 幅員:19.25m 種級:第3種第1級 設計速度:80km/h 車線数:4車線	同左	・変更なし
全体事業費	400億円	同左	・変更なし
進捗状況	進捗率(事業費)約21% 用地取得率(面積)約82% 供用延長:0km	進捗率(事業費)約37% 用地取得率(面積)約91% 供用延長:0km	・進捗率(事業費)で約16%進捗 用地取得率(面積)で約9%進捗
進捗率(事業費)	約21%	約37%	・約16%進捗
費用対効果B/C	1.5 (残事業2.0)	1.0 (残事業1.8)	①将来交通量需要推計の見直し(事業化ネット)(H22) ②前回推計に用いたOD表(H11センサスペース) ③評価年、各年度事業費、GDPデフレータの時点修正(H23)等 ④費用便益分析マニュアルの改訂(時間価値等見直し)(H20)
備考	・西脇北バイパスは、これまでに91%の用地を取得済。残る用地取得について推進するとともに、引き続き工事を進めることで、早期の供用を目指す。		



様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道175号 西脇北バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）=1（経済的純現在価値（B-C）=0.12億円、経済的内部収益率（EIRR）=4%） 残事業：費用便益比（B/C）=1.8（経済的純現在価値（B-C）=164億円、経済的内部収益率（EIRR）=7.9%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：14864万人・時間/年 渋滞損失削減時間：61万人・時間/年（40305万人・時間/年⇒40244万人・時間/年） 区間b（当該区間/並行区間）について：国道175号 黒田庄多井田線 国道427号 津万井西田線 西脇篠山線 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：78万人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：6割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道175号（上戸田地区）、（旅行速度14km/h→改善見込み）
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上で踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	西脇コミュニティバス
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	東播丹波連絡道路
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	西脇市～丹波市(所要時間:34分～29分)
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		北はりま定住自立圏共生ビジョン	
■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		日本へそ公園 (年間観光客入込数:28千人/年 H22年)	
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	兵庫県地域防災計画（第1次緊急輸送路） 国道175号、（西脇市下戸田～同市黒田庄町大伏）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：6054t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道175号 黒田庄多井田線 国道427号 津万井西田線 西脇篠山線 排出削減量：42t/年、排出削減率：5割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：42t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道175号 黒田庄多井田線 国道427号 津万井西田線 西脇篠山線 排出削減量：4t/年、排出削減率：5割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：4t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道175号	西脇北バイパス	L=5.2km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,200	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	381億円	92億円	473億円
うち残事業分	239億円	92億円	330億円
基準年における 現在価値 (C)	345億円	27億円	371億円
うち残事業分	181億円	27億円	208億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	25億円	2.1億円	0.04億円	27億円
基準年における 現在価値 (B)	339億円	31億円	0.55億円	371億円
うち残事業分	339億円	31億円	0.55億円	371億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

### ③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.0
経済的純現在価値（事業全体）	0.12億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.0%
費用便益比（残事業）	1.8
経済的純現在価値（残事業）	164億円
経済的内部収益率（残事業）	7.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,200台/日	±10%	1.6~2.0
事業費	239億円	±10%	1.6~2.0
事業期間	10年	±20%	1.7~1.9

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：西脇北バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (5.2km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	15,500	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	5	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	13.89	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道175号 (2.6km)	交通量	[台/日]	13,600	3,700
		走行時間	[分]	10	6
		走行時間費用	[億円/年]	24.87	4.21
	黒田庄多井田線 (7.6km)	交通量	[台/日]	3,600	2,500
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	11.99	6.59
	国道427号 (3.8km)	交通量	[台/日]	15,800	14,900
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	20.53	18.60
	津万井西田線 (2.4km)	交通量	[台/日]	4,000	3,500
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	6.20	4.80
西脇篠山線 (0.8km)	交通量	[台/日]	9,700	7,400	
	走行時間	[分]	2	2	
	走行時間費用	[億円/年]	2.92	2.03	
③その他道路合計 (6,869.2km)	走行時間費用	[億円/年]	24,427.74	24,418.97	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,891.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,494.25	24,469.09	25.16

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

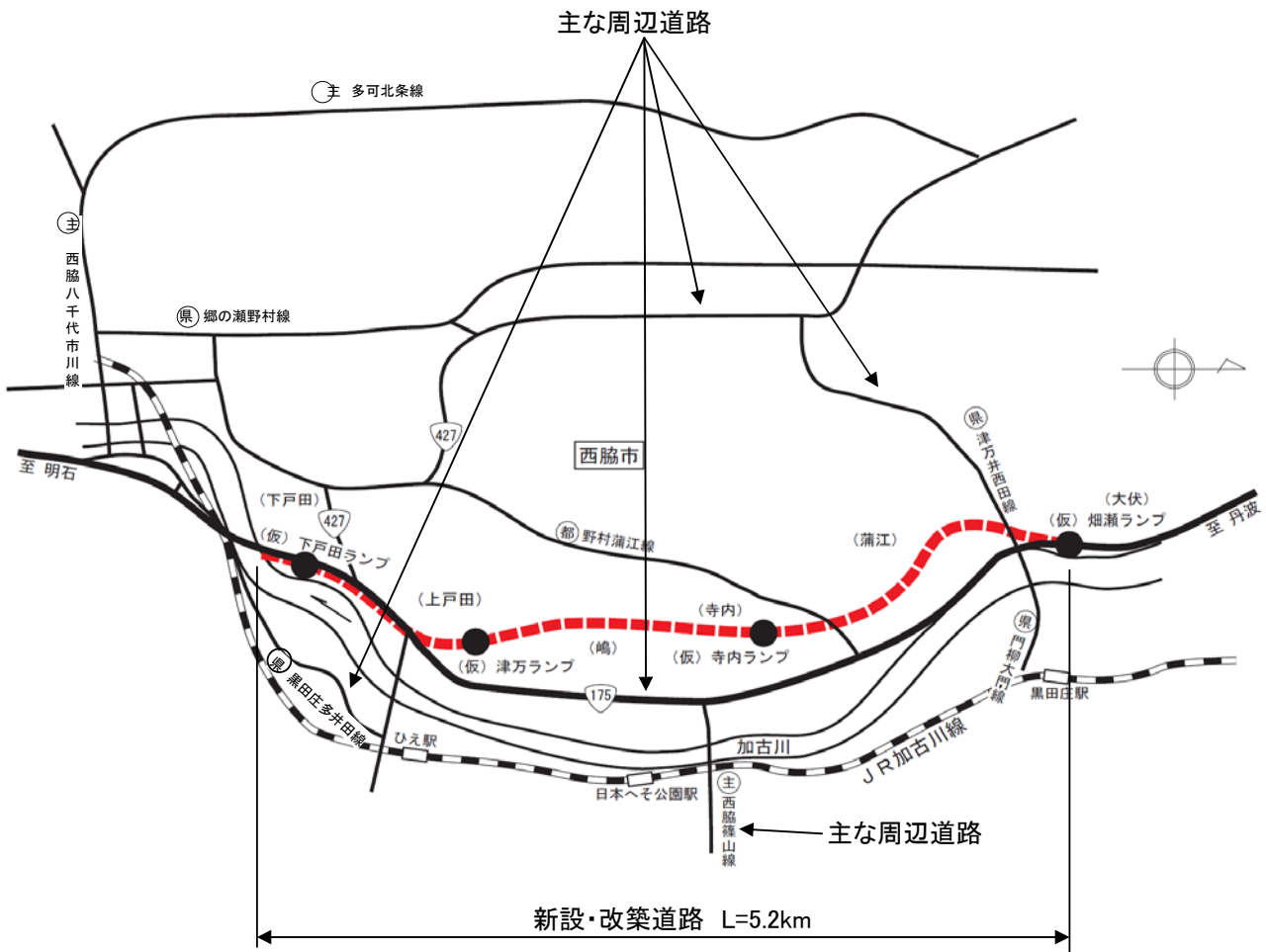
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：西脇北バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (5.2km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	15,500	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	5	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	13.89	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道175号 (2.6km)	交通量	[台/日]	13,600	3,700
		走行時間	[分]	10	6
		走行時間費用	[億円/年]	24.87	4.21
	黒田庄多井田線 (7.6km)	交通量	[台/日]	3,600	2,500
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	11.99	6.59
	国道427号 (3.8km)	交通量	[台/日]	15,800	14,900
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	20.53	18.60
	津万井西田線 (2.4km)	交通量	[台/日]	4,000	3,500
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	6.20	4.80
西脇篠山線 (0.8km)	交通量	[台/日]	9,700	7,400	
	走行時間	[分]	2	2	
	走行時間費用	[億円/年]	2.92	2.03	
③その他道路合計 (6,869.2km)	走行時間費用	[億円/年]	24,427.74	24,418.97	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,891.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,494.25	24,469.09	25.16

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

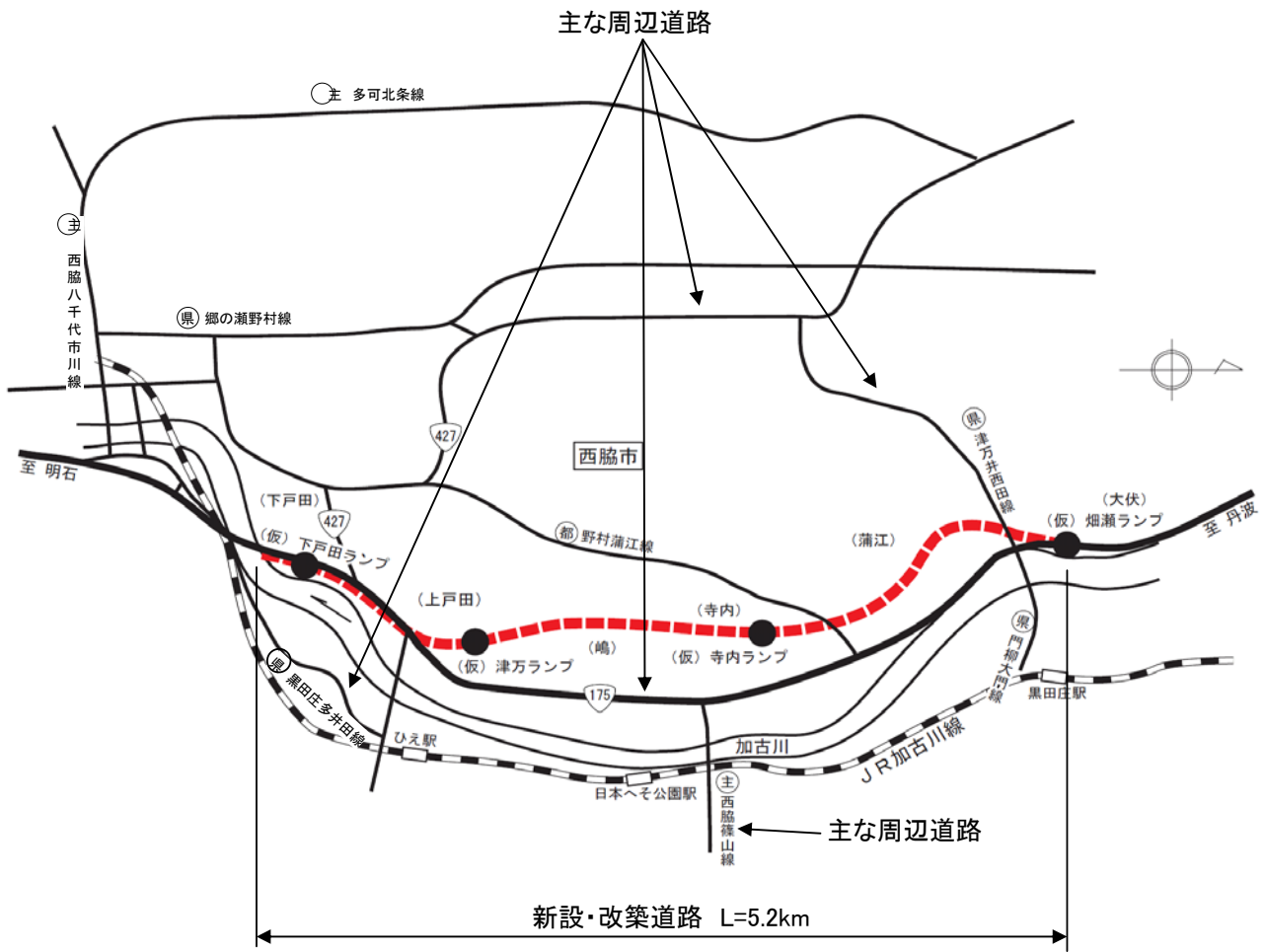
※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。



(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：西脇北バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道175号 西脇北バイパス

単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.37	5.2	1.92

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-25年目	H 9	1.7317	103.4	0.22	0.33		
-24年目	H 10	1.6651	102.8	2.67	3.89		
-23年目	H 11	1.6010	101.3	0.46	0.65		
-22年目	H 12	1.5395	99.7	4.30	5.98		
-21年目	H 13	1.4802	98.4	4.68	6.33		
-20年目	H 14	1.4233	96.6	9.37	12.43		
-19年目	H 15	1.3686	95.4	8.18	10.56		
-18年目	H 16	1.3159	94.4	11.56	14.51		
-17年目	H 17	1.2653	93.2	11.26	13.75		
-16年目	H 18	1.2167	92.5	17.52	20.74		
-15年目	H 19	1.1699	91.7	23.90	27.45		
-14年目	H 20	1.1249	91.2	15.38	17.07		
-13年目	H 21	1.0816	90.0	18.95	20.50		
-12年目	H 22	1.0400	90.0	12.97	13.49		
-11年目	H 23	1.0000	90.0	0.95	0.95		
-10年目	H 24	0.9615	90.0	0.95	0.92		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	1.43	1.32		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	1.43	1.27		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	1.90	1.63		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	33.95	27.91		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	57.14	45.16		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	61.17	46.48		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	22.05	16.11		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	30.52	21.45		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	28.03	18.93		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			1.83	1.19
1年目	H 35	0.6246	90.0			1.83	1.14
2年目	H 36	0.6006	90.0			1.83	1.10
3年目	H 37	0.5775	90.0			1.83	1.06
4年目	H 38	0.5553	90.0			1.83	1.02
5年目	H 39	0.5339	90.0			1.83	0.98
6年目	H 40	0.5134	90.0			1.83	0.94
7年目	H 41	0.4936	90.0			1.83	0.90
8年目	H 42	0.4746	90.0			1.83	0.87
9年目	H 43	0.4564	90.0			1.83	0.84
10年目	H 44	0.4388	90.0			1.83	0.80
11年目	H 45	0.4220	90.0			1.83	0.77
12年目	H 46	0.4057	90.0			1.83	0.74
13年目	H 47	0.3901	90.0			1.83	0.71
14年目	H 48	0.3751	90.0			1.83	0.69
15年目	H 49	0.3607	90.0			1.83	0.66
16年目	H 50	0.3468	90.0			1.83	0.64
17年目	H 51	0.3335	90.0			1.83	0.61
18年目	H 52	0.3207	90.0			1.83	0.59
19年目	H 53	0.3083	90.0			1.83	0.56
20年目	H 54	0.2965	90.0			1.83	0.54
21年目	H 55	0.2851	90.0			1.83	0.52
22年目	H 56	0.2741	90.0			1.83	0.50
23年目	H 57	0.2636	90.0			1.83	0.48
24年目	H 58	0.2534	90.0			1.83	0.46
25年目	H 59	0.2437	90.0			1.83	0.45
26年目	H 60	0.2343	90.0			1.83	0.43
27年目	H 61	0.2253	90.0			1.83	0.41
28年目	H 62	0.2166	90.0			1.83	0.40
29年目	H 63	0.2083	90.0			1.83	0.38
30年目	H 64	0.2003	90.0			1.83	0.37
31年目	H 65	0.1926	90.0			1.83	0.35
32年目	H 66	0.1852	90.0			1.83	0.34
33年目	H 67	0.1780	90.0			1.83	0.33

34年目	H	68	0.1712	90.0			1.83	0.31
35年目	H	69	0.1646	90.0			1.83	0.30
36年目	H	70	0.1583	90.0			1.83	0.29
37年目	H	71	0.1522	90.0			1.83	0.28
38年目	H	72	0.1463	90.0			1.83	0.27
39年目	H	73	0.1407	90.0			1.83	0.26
40年目	H	74	0.1353	90.0			1.83	0.25
41年目	H	75	0.1301	90.0			1.83	0.24
42年目	H	76	0.1251	90.0			1.83	0.23
43年目	H	77	0.1203	90.0			1.83	0.22
44年目	H	78	0.1157	90.0			1.83	0.21
45年目	H	79	0.1112	90.0			1.83	0.20
46年目	H	80	0.1069	90.0			1.83	0.20
47年目	H	81	0.1028	90.0			1.83	0.19
48年目	H	82	0.0989	90.0			1.83	0.18
49年目	H	83	0.0951	90.0	-54.35	-5.17	1.83	0.17
合計					326.60	344.64	91.62	26.57
単純事業費計						380.95		91.62

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道175号 西脇北バイパス

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.37		5.2	1.92
-10年目	H 24	0.9615	90.0	0.95	0.92		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	1.43	1.32		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	1.43	1.27		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	1.90	1.63		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	33.95	27.91		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	57.14	45.16		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	61.17	46.48		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	22.05	16.11		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	30.52	21.45		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	28.03	18.93		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			1.83	1.19
1年目	H 35	0.6246	90.0			1.83	1.14
2年目	H 36	0.6006	90.0			1.83	1.10
3年目	H 37	0.5775	90.0			1.83	1.06
4年目	H 38	0.5553	90.0			1.83	1.02
5年目	H 39	0.5339	90.0			1.83	0.98
6年目	H 40	0.5134	90.0			1.83	0.94
7年目	H 41	0.4936	90.0			1.83	0.90
8年目	H 42	0.4746	90.0			1.83	0.87
9年目	H 43	0.4564	90.0			1.83	0.84
10年目	H 44	0.4388	90.0			1.83	0.80
11年目	H 45	0.4220	90.0			1.83	0.77
12年目	H 46	0.4057	90.0			1.83	0.74
13年目	H 47	0.3901	90.0			1.83	0.71
14年目	H 48	0.3751	90.0			1.83	0.69
15年目	H 49	0.3607	90.0			1.83	0.66
16年目	H 50	0.3468	90.0			1.83	0.64
17年目	H 51	0.3335	90.0			1.83	0.61
18年目	H 52	0.3207	90.0			1.83	0.59
19年目	H 53	0.3083	90.0			1.83	0.56
20年目	H 54	0.2965	90.0			1.83	0.54
21年目	H 55	0.2851	90.0			1.83	0.52
22年目	H 56	0.2741	90.0			1.83	0.50
23年目	H 57	0.2636	90.0			1.83	0.48
24年目	H 58	0.2534	90.0			1.83	0.46
25年目	H 59	0.2437	90.0			1.83	0.45
26年目	H 60	0.2343	90.0			1.83	0.43
27年目	H 61	0.2253	90.0			1.83	0.41
28年目	H 62	0.2166	90.0			1.83	0.40
29年目	H 63	0.2083	90.0			1.83	0.38
30年目	H 64	0.2003	90.0			1.83	0.37
31年目	H 65	0.1926	90.0			1.83	0.35
32年目	H 66	0.1852	90.0			1.83	0.34
33年目	H 67	0.1780	90.0			1.83	0.33
34年目	H 68	0.1712	90.0			1.83	0.31
35年目	H 69	0.1646	90.0			1.83	0.30
36年目	H 70	0.1583	90.0			1.83	0.29
37年目	H 71	0.1522	90.0			1.83	0.28
38年目	H 72	0.1463	90.0			1.83	0.27
39年目	H 73	0.1407	90.0			1.83	0.26
40年目	H 74	0.1353	90.0			1.83	0.25
41年目	H 75	0.1301	90.0			1.83	0.24
42年目	H 76	0.1251	90.0			1.83	0.23
43年目	H 77	0.1203	90.0			1.83	0.22
44年目	H 78	0.1157	90.0			1.83	0.21
45年目	H 79	0.1112	90.0			1.83	0.20
46年目	H 80	0.1069	90.0			1.83	0.20

47年目	H 81	0.1028	90.0			1.83	0.19
48年目	H 82	0.0989	90.0			1.83	0.18
49年目	H 83	0.0951	90.0	0.00	0.00	1.83	0.17
合計				238.58	181.18	91.62	26.57
単純事業費計					238.58		91.62

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)



便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 国道175号 西脇北バイパス

年次	年度 (基準年) H 23	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行経費便益 (億円)					走行時間便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.6496	90.0	13.61	4.36	6.95	24.92	15.98	0.55	0.17	1.41	2.12	1.36	0.04	0.03	27.09	17.37
1年目	H 35	0.99816	0.99287	1.01212	0.99953	0.6246	90.0	13.59	4.33	7.04	24.95	15.38	0.55	0.17	1.43	2.14	1.32	0.04	0.03	27.13	16.72
2年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6006	90.0	13.56	4.30	7.12	24.98	14.81	0.55	0.16	1.44	2.15	1.28	0.04	0.02	27.18	16.11
3年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.5775	90.0	13.54	4.26	7.21	25.01	14.25	0.55	0.16	1.46	2.17	1.24	0.04	0.02	27.22	15.51
4年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.5553	90.0	13.51	4.23	7.30	25.04	13.72	0.55	0.16	1.48	2.18	1.20	0.04	0.02	27.27	14.94
5年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.5339	90.0	13.49	4.20	7.38	25.07	13.21	0.54	0.16	1.49	2.20	1.16	0.04	0.02	27.31	14.39
6年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5134	90.0	13.46	4.17	7.47	25.10	12.72	0.54	0.16	1.51	2.21	1.12	0.04	0.02	27.35	13.86
7年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.4936	90.0	13.44	4.14	7.55	25.13	12.24	0.54	0.16	1.53	2.23	1.09	0.04	0.02	27.40	13.35
8年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.4746	90.0	13.41	4.11	7.64	25.16	11.78	0.54	0.16	1.55	2.24	1.05	0.04	0.02	27.44	12.85
9年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.4564	90.0	13.29	4.08	7.65	25.02	11.27	0.54	0.16	1.55	2.24	1.01	0.04	0.02	27.30	12.30
10年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4388	90.0	13.16	4.05	7.67	24.88	10.77	0.53	0.15	1.55	2.24	0.97	0.04	0.02	27.16	11.76
11年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4220	90.0	13.03	4.02	7.69	24.74	10.30	0.53	0.15	1.56	2.24	0.93	0.04	0.02	27.02	11.25
12年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4057	90.0	12.91	4.00	7.70	24.61	9.85	0.52	0.15	1.56	2.23	0.89	0.04	0.02	26.88	10.76
13年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.3901	90.0	12.78	3.97	7.72	24.47	9.42	0.52	0.15	1.56	2.23	0.86	0.04	0.02	26.74	10.29
14年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.3751	90.0	12.66	3.94	7.73	24.33	9.01	0.51	0.15	1.57	2.23	0.82	0.04	0.01	26.60	9.85
15年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.3607	90.0	12.53	3.91	7.75	24.19	8.61	0.51	0.15	1.57	2.22	0.79	0.04	0.01	26.46	9.42
16年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3468	90.0	12.40	3.88	7.77	24.05	8.23	0.50	0.15	1.57	2.22	0.76	0.04	0.01	26.32	9.01
17年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3335	90.0	12.28	3.85	7.78	23.92	7.87	0.50	0.15	1.58	2.22	0.73	0.04	0.01	26.17	8.61
18年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3207	90.0	12.15	3.83	7.80	23.78	7.53	0.49	0.15	1.58	2.22	0.70	0.04	0.01	26.03	8.24
19年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3083	90.0	12.03	3.80	7.82	23.64	7.19	0.49	0.14	1.58	2.21	0.67	0.04	0.01	25.89	7.88
20年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.2965	90.0	11.90	3.77	7.83	23.50	6.88	0.48	0.14	1.59	2.21	0.65	0.04	0.01	25.75	7.53
21年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.2851	90.0	11.77	3.74	7.85	23.36	6.57	0.47	0.14	1.59	2.21	0.62	0.04	0.01	25.61	7.21
22年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.2741	90.0	11.65	3.71	7.87	23.23	6.28	0.47	0.14	1.59	2.20	0.60	0.04	0.01	25.47	6.89
23年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2636	90.0	11.52	3.68	7.88	23.09	6.01	0.46	0.14	1.60	2.20	0.57	0.04	0.01	25.33	6.59
24年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2534	90.0	11.40	3.65	7.90	22.95	5.74	0.46	0.14	1.60	2.20	0.55	0.04	0.01	25.19	6.30
25年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2437	90.0	11.27	3.63	7.92	22.81	5.49	0.45	0.14	1.60	2.20	0.53	0.04	0.01	25.05	6.02
26年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2343	90.0	11.15	3.60	7.93	22.68	5.24	0.45	0.14	1.61	2.19	0.51	0.04	0.01	24.90	5.76
27年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2253	90.0	11.02	3.57	7.95	22.54	5.01	0.44	0.14	1.61	2.19	0.49	0.04	0.01	24.76	5.51
28年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2166	90.0	10.89	3.54	7.96	22.40	4.79	0.44	0.14	1.61	2.19	0.47	0.04	0.01	24.62	5.26
29年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2083	90.0	10.77	3.51	7.98	22.26	4.58	0.43	0.13	1.62	2.18	0.45	0.04	0.01	24.48	5.03
30年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2003	90.0	10.64	3.48	8.00	22.12	4.37	0.43	0.13	1.62	2.18	0.43	0.04	0.01	24.34	4.81
31年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.1926	90.0	10.52	3.46	8.01	21.99	4.18	0.42	0.13	1.62	2.18	0.41	0.03	0.01	24.20	4.60
32年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.1852	90.0	10.39	3.43	8.03	21.85	3.99	0.42	0.13	1.63	2.18	0.40	0.03	0.01	24.06	4.40
33年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.1780	90.0	10.26	3.40	8.05	21.71	3.81	0.41	0.13	1.63	2.17	0.38	0.03	0.01	23.92	4.20
34年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1712	90.0	10.14	3.37	8.06	21.57	3.64	0.41	0.13	1.63	2.17	0.37	0.03	0.01	23.78	4.02
35年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1646	90.0	10.01	3.34	8.08	21.43	3.48	0.40	0.13	1.64	2.17	0.35	0.03	0.01	23.64	3.84
36年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1583	90.0	9.89	3.31	8.10	21.30	3.33	0.40	0.13	1.64	2.16	0.34	0.03	0.01	23.49	3.67
37年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1522	90.0	9.76	3.28	8.11	21.16	3.18	0.39	0.13	1.64	2.16	0.32	0.03	0.00	23.35	3.51
38年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1463	90.0	9.63	3.26	8.13	21.02	3.03	0.39	0.12	1.65	2.16	0.31	0.03	0.00	23.21	3.35
39年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1407	90.0	9.51	3.23	8.15	20.88	2.90	0.38	0.12	1.65	2.16	0.30	0.03	0.00	23.07	3.20
40年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1353	90.0	9.38	3.20	8.16	20.74	2.77	0.38	0.12	1.65	2.15	0.29	0.03	0.00	22.93	3.06
41年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1301	90.0	9.26	3.17	8.18	20.61	2.65	0.37	0.12	1.66	2.15	0.28	0.03	0.00	22.79	2.93
42年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1251	90.0	9.13	3.14	8.19	20.47	2.53	0.37	0.12	1.66	2.15	0.27	0.03	0.00	22.65	2.80
43年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1203	90.0	9.01	3.11	8.21	20.33	2.41	0.36	0.12	1.66	2.15	0.25	0.03	0.00	22.51	2.67
44年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1157	90.0	8.88	3.09	8.23	20.19	2.31	0.36	0.12	1.67	2.14	0.24	0.03	0.00	22.37	2.55
45年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1112	90.0	8.75	3.06	8.24	20.06	2.20	0.35	0.12	1.67	2.14	0.23	0.03	0.00	22.23	2.44
46年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1069	90.0	8.63	3.03	8.26	19.92	2.10	0.35	0.12	1.67	2.14	0.23	0.03	0.00	22.08	2.33
47年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1028	90.0	8.50	3.00	8.28	19.78	2.01	0.34	0.11	1.68	2.13	0.22	0.03	0.00	21.94	2.23
48年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.0989	90.0	8.38	2.97	8.29	19.64	1.92	0.34	0.11	1.68	2.13	0.21	0.03	0.00	21.80	2.13
49年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.0951	90.0	8.25	2.94	8.31	19.50	1.83	0.33	0.11	1.68	2.13	0.20	0.03	0.00	21.66	2.03
合計								563.09	182.10	392.89	1,138.09	339.37	22.71	6.95	79.57	109.23	31.41	1.83	0.55	1,249.15	371.33

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 国道175号 西脇北バイパス

年次	年度 (基準年) H 23	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.6496	90.0	13.61	4.36	6.95	24.92	15.98	0.55	0.17	1.41	2.12	1.36	0.04	0.03	27.09	17.37
1年目	H 35	0.99816	0.99287	1.01212	0.99953	0.6246	90.0	13.59	4.33	7.04	24.95	15.38	0.55	0.17	1.43	2.14	1.32	0.04	0.03	27.13	16.72
2年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6006	90.0	13.56	4.30	7.12	24.98	14.81	0.55	0.16	1.44	2.15	1.28	0.04	0.02	27.18	16.11
3年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.5775	90.0	13.54	4.26	7.21	25.01	14.25	0.55	0.16	1.46	2.17	1.24	0.04	0.02	27.22	15.51
4年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.5553	90.0	13.51	4.23	7.30	25.04	13.72	0.55	0.16	1.48	2.18	1.20	0.04	0.02	27.27	14.94
5年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.5339	90.0	13.49	4.20	7.38	25.07	13.21	0.54	0.16	1.49	2.20	1.16	0.04	0.02	27.31	14.39
6年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5134	90.0	13.46	4.17	7.47	25.10	12.72	0.54	0.16	1.51	2.21	1.12	0.04	0.02	27.35	13.86
7年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.4936	90.0	13.44	4.14	7.55	25.13	12.24	0.54	0.16	1.53	2.23	1.09	0.04	0.02	27.40	13.35
8年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.4746	90.0	13.41	4.11	7.64	25.16	11.78	0.54	0.16	1.55	2.24	1.05	0.04	0.02	27.44	12.85
9年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.4564	90.0	13.29	4.08	7.65	25.02	11.27	0.54	0.16	1.55	2.24	1.01	0.04	0.02	27.30	12.30
10年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4388	90.0	13.16	4.05	7.67	24.88	10.77	0.53	0.15	1.55	2.24	0.97	0.04	0.02	27.16	11.76
11年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4220	90.0	13.03	4.02	7.69	24.74	10.30	0.53	0.15	1.56	2.24	0.93	0.04	0.02	27.02	11.25
12年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4057	90.0	12.91	4.00	7.70	24.61	9.85	0.52	0.15	1.56	2.23	0.89	0.04	0.02	26.88	10.76
13年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.3901	90.0	12.78	3.97	7.72	24.47	9.42	0.52	0.15	1.56	2.23	0.86	0.04	0.02	26.74	10.29
14年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.3751	90.0	12.66	3.94	7.73	24.33	9.01	0.51	0.15	1.57	2.23	0.82	0.04	0.01	26.60	9.85
15年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.3607	90.0	12.53	3.91	7.75	24.19	8.61	0.51	0.15	1.57	2.22	0.79	0.04	0.01	26.46	9.42
16年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3468	90.0	12.40	3.88	7.77	24.05	8.23	0.50	0.15	1.57	2.22	0.76	0.04	0.01	26.32	9.01
17年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3335	90.0	12.28	3.85	7.78	23.92	7.87	0.50	0.15	1.58	2.22	0.73	0.04	0.01	26.17	8.61
18年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3207	90.0	12.15	3.83	7.80	23.78	7.53	0.49	0.15	1.58	2.22	0.70	0.04	0.01	26.03	8.24
19年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3083	90.0	12.03	3.80	7.82	23.64	7.19	0.49	0.14	1.58	2.21	0.67	0.04	0.01	25.89	7.88
20年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.2965	90.0	11.90	3.77	7.83	23.50	6.88	0.48	0.14	1.59	2.21	0.65	0.04	0.01	25.75	7.53
21年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.2851	90.0	11.77	3.74	7.85	23.36	6.57	0.47	0.14	1.59	2.21	0.62	0.04	0.01	25.61	7.21
22年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.2741	90.0	11.65	3.71	7.87	23.23	6.28	0.47	0.14	1.59	2.20	0.60	0.04	0.01	25.47	6.89
23年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2636	90.0	11.52	3.68	7.88	23.09	6.01	0.46	0.14	1.60	2.20	0.57	0.04	0.01	25.33	6.59
24年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2534	90.0	11.40	3.65	7.90	22.95	5.74	0.46	0.14	1.60	2.20	0.55	0.04	0.01	25.19	6.30
25年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2437	90.0	11.27	3.63	7.92	22.81	5.49	0.45	0.14	1.60	2.20	0.53	0.04	0.01	25.05	6.02
26年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2343	90.0	11.15	3.60	7.93	22.68	5.24	0.45	0.14	1.61	2.19	0.51	0.04	0.01	24.90	5.76
27年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2253	90.0	11.02	3.57	7.95	22.54	5.01	0.44	0.14	1.61	2.19	0.49	0.04	0.01	24.76	5.51
28年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2166	90.0	10.89	3.54	7.96	22.40	4.79	0.44	0.14	1.61	2.19	0.47	0.04	0.01	24.62	5.26
29年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2083	90.0	10.77	3.51	7.98	22.26	4.58	0.43	0.13	1.62	2.18	0.45	0.04	0.01	24.48	5.03
30年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2003	90.0	10.64	3.48	8.00	22.12	4.37	0.43	0.13	1.62	2.18	0.43	0.04	0.01	24.34	4.81
31年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.1926	90.0	10.52	3.46	8.01	21.99	4.18	0.42	0.13	1.62	2.18	0.41	0.03	0.01	24.20	4.60
32年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.1852	90.0	10.39	3.43	8.03	21.85	3.99	0.42	0.13	1.63	2.18	0.40	0.03	0.01	24.06	4.40
33年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.1780	90.0	10.26	3.40	8.05	21.71	3.81	0.41	0.13	1.63	2.17	0.38	0.03	0.01	23.92	4.20
34年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1712	90.0	10.14	3.37	8.06	21.57	3.64	0.41	0.13	1.63	2.17	0.37	0.03	0.01	23.78	4.02
35年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1646	90.0	10.01	3.34	8.08	21.43	3.48	0.40	0.13	1.64	2.17	0.35	0.03	0.01	23.64	3.84
36年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1583	90.0	9.89	3.31	8.10	21.30	3.33	0.40	0.13	1.64	2.16	0.34	0.03	0.01	23.49	3.67
37年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1522	90.0	9.76	3.28	8.11	21.16	3.18	0.39	0.13	1.64	2.16	0.32	0.03	0.00	23.35	3.51
38年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1463	90.0	9.63	3.26	8.13	21.02	3.03	0.39	0.12	1.65	2.16	0.31	0.03	0.00	23.21	3.35
39年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1407	90.0	9.51	3.23	8.15	20.88	2.90	0.38	0.12	1.65	2.16	0.30	0.03	0.00	23.07	3.20
40年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1353	90.0	9.38	3.20	8.16	20.74	2.77	0.38	0.12	1.65	2.15	0.29	0.03	0.00	22.93	3.06
41年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1301	90.0	9.26	3.17	8.18	20.61	2.65	0.37	0.12	1.66	2.15	0.28	0.03	0.00	22.79	2.93
42年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1251	90.0	9.13	3.14	8.19	20.47	2.53	0.37	0.12	1.66	2.15	0.27	0.03	0.00	22.65	2.80
43年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1203	90.0	9.01	3.11	8.21	20.33	2.41	0.36	0.12	1.66	2.15	0.25	0.03	0.00	22.51	2.67
44年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1157	90.0	8.88	3.09	8.23	20.19	2.31	0.36	0.12	1.67	2.14	0.24	0.03	0.00	22.37	2.55
45年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1112	90.0	8.75	3.06	8.24	20.06	2.20	0.35	0.12	1.67	2.14	0.23	0.03	0.00	22.23	2.44
46年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1069	90.0	8.63	3.03	8.26	19.92	2.10	0.35	0.12	1.67	2.14	0.23	0.03	0.00	22.08	2.33
47年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1028	90.0	8.50	3.00	8.28	19.78	2.01	0.34	0.11	1.68	2.13	0.22	0.03	0.00	21.94	2.23
48年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.0989	90.0	8.38	2.97	8.29	19.64	1.92	0.34	0.11	1.68	2.13	0.21	0.03	0.00	21.80	2.13
49年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.0951	90.0	8.25	2.94	8.31	19.50	1.83	0.33	0.11	1.68	2.13	0.20	0.03	0.00	21.66	2.03
合計								563.09	182.10	392.89	1,138.09	339.37	22.71	6.95	79.57	109.23	31.41	1.83	0.55	1,249.15	371.33

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					25,033	
	改良費				2,693	
		土工	m <sup>3</sup>	546,700	1,031	切土(108,700m <sup>3</sup> )、盛土(438,000m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	22,529	83	
		法面工	m <sup>2</sup>	12,920	75	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,282	補強土壁、重力式擁壁、L型擁壁等
		函渠工	m	973	222	
	橋梁費				15,994	
		100m以上	m	5,619	15,994	連続高架橋2橋、PC橋4橋
		100m未満	m			
	トンネル費				4,830	
		NATM	m	1,502	4,830	2本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,396	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	151,150	1,309	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	22,530	87	
	付帯施設費				120	
		交通管理施設工	式	1	120	通信管路工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					8,300	
	用地費		m <sup>2</sup>	173,461	5,435	
		宅地	m <sup>2</sup>	14,198	726	
		田畑	m <sup>2</sup>	97,882	3,273	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	61,381	1,437	
	補償費		式	1	2,865	
③間接経費					6,667	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					40,000	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					22,325	
	改良費				1,360	
		土工	m <sup>3</sup>	474,900	418	切土(72,600m <sup>3</sup> )、盛土(402,300m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	9,840	43	
		法面工	m <sup>2</sup>	8,760	54	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	734	補強土壁、重力式擁壁、L型擁壁等
		函渠工	m	390	111	
	橋梁費				14,665	
		100m以上	m	5,310	14,665	連続高架橋2橋、PC橋1橋
		100m未満	m			
	トンネル費				4,830	
		NATM	m	1,502	4,830	2本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,353	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	145,500	1,268	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	21,600	85	
	付帯施設費				117	
		交通管理施設工	式	1	117	通信管路工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					542	
	用地費		m <sup>2</sup>	11,360	377	
		宅地	m <sup>2</sup>	7,430	346	
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>	3,930	31	
	補償費		式	1	165	
③間接経費					2,184	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					25,051	

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

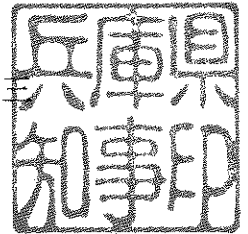
■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.2	1,500	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	8,150	橋梁5.6km、トンネル1.5km
その他	式	1	0	
維持管理費合計			9,650	

土第 1398 号  
平成 23 年 11 月 4 日

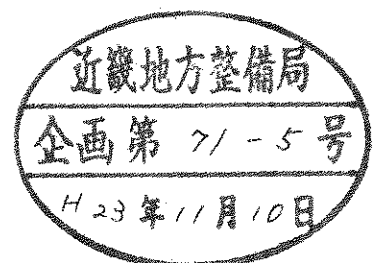
近畿地方整備局長  
上 総 周 平 様

兵庫県知事 井戸 敏 夫



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成  
に係る意見照会について（回答）

平成 23 年 10 月 19 日付け国近整企画第 45 号で照会のありました標記の件につき  
まして、別紙のとおり回答します。



## 【道路事業】

## 〈一般国道175号西脇北バイパス〉

## 兵庫県知事の意見

一般国道175号西脇北バイパスは、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICを連絡する地域高規格道路「東播丹波連絡道路」の一部を形成し、今年度供用予定の西脇バイパスにつながる重要な道路である。

当該区間の国道175号現道は、2車線で、交通容量（約13,000台/日）を大幅に上回る約20,000台/日の交通量があり、西脇市上戸田南交差点では、夕方の通勤時間帯に最大約700mの渋滞が発生していること、7割の区間において歩道が未整備であり歩行者や自転車が危険な状況にあること等から、交通混雑の緩和、安全性の向上を図る西脇北バイパス（4車線）の早期整備が喫緊の課題となっている。

また、沿線には、地域の豊かな自然や歴史文化、さらには伝統産業など、有形・無形の地域資源を博物館のサテライトとして展示する「北はりま田園空間博物館」の総合案内所があり、観光振興・地域振興の観点からも不可欠な道路であるため、沿線市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、安全で円滑な交通確保と地域の活性化に資する本バイパスの事業推進に、引き続き取り組んでいただきたい。